

## iCEGP で普通科1年生が留学生と交流

12月22日(水)に、iCEGP(一宮コンピテンシーエレメンタリーグローバルプログラム)で普通科1年生の生徒が留学生16人と交流しました。今回のiCEGPでは、各クラスを4つのグループに分け、各グループに2人の留学生に入ってもらい、「iCイングリッシュ」の授業で作成した英語ポスターを使った英語でのディスカッションを行いました。

「iCイングリッシュ」の授業では、普通科1年生の生徒がSDGs17個のゴールについて生徒自身が興味を持つものを取り上げ、その内容について英語でポスターを作成しています。

現在、直面している課題について探究し、データを提示しながら自分たちができる解決策を考えていく、さらにその内容を英語にするという大きな挑戦を生徒全員がやり遂げました。「ポスターを作ることは難しかったけれど、SDGsについて深く調べることができて良かった」との感想がありました。

iCEGPの当日はグループの代表発表者のポスター発表を聞いた後、英語での質疑応答やグループディスカッションの際に、多くの生徒が英語を使って自分の意見や考えを積極的に話すことができていました。テーマに関わる内容から、普段の学校の生活、留学生の方の国の話など、活きた英語に触れられる貴重な体験をすることができました。

## 【発表会を終えて】

発表をした生徒は、iCEGP終了後に、「自分の英語が伝わるといことがわかって、とてもうれしかった。」「英語で話すことは緊張したけど、留学生の方と英語でしゃべることができて楽しかった。」「もう一回交流会がしたい」などと話していました。

自分たちの英語で留学生とコミュニケーションが取れたことの喜びと実感に支えられ、コミュニケーション力や垣根を越える力を高めることができました。

今後の授業でも今まで以上に積極的な英語の活動が期待されます。

